

◇鈴木良勝君

○議長（高橋 猛君） 最初に、2番、鈴木良勝君の一般質問を許可いたします。鈴木良勝君、登壇願います。

（2番 鈴木良勝君 登壇）

○2番（鈴木良勝君） おはようございます。

通告に従って質問に入りますけれども、その前に、去る4月14日、熊本県を中心に発生しました地震によりまして、不幸にして亡くなられた方々へのお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様へのお見舞いもあわせて申し上げます。

あれから2カ月がたちますが、いまだ多くの避難民が不自由な生活を強いられており、一日も早い復興・復旧を心からお祈り申し上げます。

さて、本題に入りますけれども、ことし11月に、任期満了に伴う町長選挙がございますけれども、その出馬の意向について伺うものでございます。

町選挙管理委員会では、6月2日に会議を開催し、11月27日に任期満了を迎える町長選挙を11月8日に告示し、同13日に投開票すると決めました。

町長選にはこれまで、現職を含め立候補を表明した人はいないと、6月3日の地元新聞に記載がされております。町長は、平成16年の合併以来、これまでむだを削る、いわゆる改革を重点に置き、取り組みをされてきました。役場庁舎の統合を皮切りに、公民館や保健センター、図書館等の統合をし、さらには、中学校の統合、2つある小学校の統合も果たされております。ほぼ改革は完了されたと私は思っております。また同時に、財政改善のほうも着実に実行してまいりました。こうした功績は、多くの町民に理解され、そして評価もされております。

今後のまちづくりについては、昨年10月に第2次総合計画が示され、その中には、今一番問題となっております人口減少に歯どめをかけるといったことや、少子高齢化対策、子育て支援対策、定住促進対策を基軸に置いて、多くの施策が盛り込まれております。これらを着実に実行し成果に結びつけられる人は、町長、あなたをおいてほかにはいないと思います。

しかし、一方では、町長のことをこのまま美郷町長においておくのはもったいないといった言葉が最近聞かれるようになりました。県政や国政に向かい、その持っている才能をフルに発揮していただきたいといった声も上がっておるのも事実です。ただ、このことについては通告しておりませんので、答弁を求めるものではございませんが、町内外の人々は大いに期待を抱いておるということをお心にとめておいていただきたいと思っております。

以上、申し上げましたとおり、ぜひとも今後も町のかじ取り役を託したく、町長の決意をお聞

かせ願います。

以上です。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。

町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） おはようございます。

ただいまの町長選挙出馬についてのご質問にお答えいたします。

美郷町は、平成16年11月の立町以来、現在まで11年と7カ月余りの時間を刻んできました。この間、私は初代町長として、合併町だからこそ意識すべきテーマである「一体感を目指しての融和」と自治体として普遍的テーマである「住みよさを向上させる前進」を掲げ、各般の取り組みに邁進してまいりました。

おかげさまで、議員にも今ご紹介いただきましたが、さまざまな取り組みについて、議員各位並びに町民各位からのご理解とご協力をいただき、4年1期のそれぞれのステージにおいてなすべき事柄に取り組ませていただき、十分とは言えないものの、一定の成果を残すことができたのではないかと認識しているところです。改めて、議員各位並びに町民各位に心から感謝を申し上げます。

現在のステージ、つまり、現在の任期においては、先ほど議員からもご紹介ありましたが、学校統合の仕上げに取り組み、千畑、仙南の各小学校を開校させるとともに、空き校舎の利活用については、仕上げとして、旧千畑南小学校校舎の歴史民俗資料館及び屋内スポーツ館への転用、旧仙南東小学校校舎の宿泊交流館への転用を果たし、供用を開始しているところです。

また、美郷町の自治体カラーの充実強化に向けて、民間企業との連携や自治体間の連携を意識し、株式会社龍角散や日本航空株式会社などと協定等を締結するとともに、ラベンダーで有名な北海道中富良野町とも協定を締結し、広く取り組みを進めてきたところです。

こうした状況を踏まえた今後のまちづくりの方向性については、継続性を大切にしながら、引き続き「前進」をテーマにした各般の取り組みが推進されるべきと私は考えております。そのためにも、まずは各般の取り組みを支え、将来において必要な施設や制度を維持していくための財政についてですが、現在対応している地方交付税一本算定を見据えた財政健全化対応について確実に推進していくことが必要です。

また、合併を受けての公共施設再編整備の次のステップとして、人口減少等を踏まえて取り組んでいる公共施設等総合管理計画を今年度中に策定するとともに、それを踏まえた、仮称ですが、

「第2次公共施設等再編整備計画」を今後策定し、推進していくことが必要と考えております。

こうした基本的な取り組みのもと、美郷町の活力を今後も維持拡大していくためには、美しい景観を醸し、かつ地域経済に一定の影響力を持つ農業について、転作廃止後においても希望を持てる営農をできるように、生菓も含めた振興策を展開することが必要と考えるとともに、体質強化が求められる商工業について、商工業者それぞれがオンリーワンの存在となるよう、地域資源を活用した技術や商品開発、販売などに取り組み続けることが必要ではないかと考えているところです。

また、地域経済全体に刺激を与えるため、観光と物産販売のありように検討を加えながら、東京オリンピックの開催も見据えて、国内外からの来町者を増加させるとともに、信頼感を醸成している交流団体との取り組みには、極力若い方々にかかわってもらい、息の長い交流を確かなものにしていくことも大切であると考えております。

こうした事柄について、ひらめきを持ちながら、継続して取り組んでいく力を広く養成していくことも大切で、引き続き多様な教育機会、経験機会を創出していくことも大切ではないかと考えているところです。

こうした前進すべき分野や継続すべき取り組み、あるいは留意すべき事柄に思いをめぐらしながら、今後について熟慮の上に熟慮を重ねましたが、改めて自分の浅学非才は認識しながらも、引き続き住みやすい美郷町、誇れる美郷町の構築に向けて、今後も汗を流していきたいとの思いに至り、次の任期に挑戦する意思を表明したいと存じます。

以上です。

○議長（高橋 猛君） 再質問ありますか。（「ございません」の声あり）。

これで、2番、鈴木良勝君の一般質問を終わります。